

【障害者の人権】

貸出No.	題名	制作年度 再生時間	内容	副読本
新 292	あなたの笑顔がくれたもの ～周りから見えにくい障害・ 生きづらさ～	R04年 (2022年) 37分	主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト(人工肛門保有者)の女子高生美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。	
271	知りたいあなたのこと 外見からはわからない障害・病気 を抱える人	R01年 (2019年) 21分	外見からはわからない障害や病気は、一見すると健康そうに見えるため、周りからは理解されにくい人たちに対して、私たちは「どんな場面で困っているのか?」「どんな配慮が求められているのか」など、できる配慮を考え、ともに歩んでいくためのヒントが詰まった教材です。	
267	お互いの本当が伝わる時 —障害者—	H30年 (2018年) 24分	今現在も障害のある人に対する差別は解消されたとは言えず、また自分が意図せずとも相手を傷つけているケースも少なくありません。障害のある人が、どんな場面で困っているのか、どんな[バリア]があるのかなど具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいのか等を示しています。	
256	障害者は困っています! ～合理的配慮へのポイント①～ (肢体不自由、視覚障害、聴 覚障害)	H29年 (2017年) 20分	障害者のある人への差別をなくし、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会をめざして、2016年4月から施行されている「障害者差別解消法」。このDVDは、障害者の実態と日常での困り事を具体的に示しながら、どのように対応していけば良いか、合理的配慮の視点から描いています。	
246	障がいを超えて	H28年 (2016年) 30分	障がい者は、自分とは違う世界の人…。自分とは違う存在や理解しにくい相手を恐れ、排除してしまう…そんな「心のバリア」を、あなたも感じたことはないですか? このビデオに出ている人たちの多くも、最初は壁を感じていました。しかし相手に向かって一歩踏み出すことで、必ず壁には穴があき、そこから新しい景色が見える…そんな三つの実例を追いかけました。	
245	ここから歩き始める	H27年 (2015年) 34分	「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人と幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。	●
244	風の匂い	H28年 (2016年) 34分	スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公です。歩には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材です。	●
239	こえ かたち 囀の形	H27年 (2015年) 30分	本作は原作の物語を基本に、教材としてテーマを付加したドラマ形式の学習教材です。「いじめ」や「障がい」に対する意識と知識を高め、学校や家庭内で話し合うきっかけとしてお役立てください。	
235	こすもす さひ 秋桜の咲く日	H26年 (2014年) 34分	この映画は、「目に見えにくい違い」の一つとして発達障害をとりあげています。発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々に重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えるための教材です。	●

貸出No.	題名	制作年度 再生時間	内容	副読本
218	無関心ではいけない！ 障害者の人権	H25年 (2013年) 24分	視覚障害者、聴覚障害者、車椅子の方の日常をとおして、障害を理由にした直接差別、障害を理由にしない間接差別、合理的配慮を怠った場合の差別について考え、誰もが不自由を感じない社会環境づくりこそが障害者の人権を守っていく第一歩であることを訴える作品。	
197	障害のある人との ふれあいと人権	H15年 (2003年) 23分	この作品は障害者自身の言葉で、どう関わってほしいのかを伝えます。また障害別のサポートの仕方も紹介。「本当のバリアフリーは、心のバリアフリーから始まる」をテーマに、障害者が社会参加するために、自分たちに何が出来るか考えるきっかけになることを目指して企画しました。	
196	盲導犬クイールの一生	H15年 (2003年) 25分	実在したラブラドル・レトリバーの盲導犬、クイールの生涯を描いた感動のストーリー。一匹の子犬が生まれてから出会いと別れを繰り返し、苦労の末、立派な盲導犬に育つ姿が描かれている。	
178	アイムヒア 僕はここにいる	H18年 (2006年) 54分	知的には遅れはないものの、発達がアンバランスなために学校や社会の中で生きにくさを感じ、苦しんでいる”発達障害”の人たちのことを理解するとともに、どんな支援が必要であるかをまなび、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現について考えるきっかけとする。	